

平成30年度 西蒲区長マニフェスト

資料3-1

西蒲区長 鈴木 浩行

マニフェスト

- (1) 市内の25%強の広大な経営耕地面積を有し、多種多様な農業の営みを背景に育まれた本区の豊かな「食・農業」の安心安全な農産物の生産による高付加価値化と農業経営の効率化・安定化を進め「稼げる農業」を目指します。また、農家レストランをはじめとした、国家戦略特区の活用による「攻めの農業」の実現に向け、本市が受けた「大規模農業の改革拠点」としての特区指定を最大限活用しながら、6次産業化・12次産業化を推進していきます。
- (2) 美しい自然、歴史、岩室温泉など豊かな観光資源とカーブドッチや酒蔵、地ビールなど数多くの優れた地域産業を有機的に結びながら積極的に国内外に発信し、交流人口の拡大を図るとともに、宿泊者増を促進し、地域の活性化に繋がります。特に、岩室温泉を核として四季を通して楽しめる上堰瀉や歴史に根差した北国街道まち歩き、農業体験などの魅力あるコンテンツのブラッシュアップとインバウンドを視野に入れた受入態勢の整備に努め、定住化を地域とともに推進します。
- (3) 区民との協働、地域と連携し地域課題解決に努めるとともに、災害に強く安心安全で区民が住んで良かったと言えるまちづくりを進めます。また、人口減少対策に取り組みながら乳幼児からお年寄りまで、障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支えあう仕組みづくりを目指し、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、自分の健康は自分で守ることを目的に健康管理に対する意識の醸成を図り健康寿命の延伸につなげる健康づくりを推進します。
- この方針のもと、今年度は次の3つの取り組みを重点的に推進します。
- 1 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進
 - 2 美しい自然と豊かな観光資源を活かし交流人口の拡大と地域活性化の推進
 - 3 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進	
現状 (課題)	<p>(1) 米価をはじめとする農産物の価格低迷と農業の担い手不足と高齢化が続いています。新たな担い手を目指し安定した経営を継続できる魅力ある農業の実現に向けた取り組みが必要です。</p> <p>(2) 広大な農地面積のほとんどが米作で、農業経営の安定化のため新たな農産物等の開発に向けた取り組みが必要です。</p>
課題解決策	<p>目標</p> <p>(1) 安心安全な農産物の生産と高付加価値化を目指し農業生産工程管理手法の取組拡大</p> <p>(2) 農業の担い手に安定した農業経営を目指し、新たな農産物等の特産品の開発を推進</p> <p>(1) 農業経営の効率化を図るとともに消費者ニーズに応じた安全性の高い農産物の生産体系を普及促進します。</p> <p>(2) 本年度から米の生産調整手法の変更に伴う、米に代わる園芸作物の導入を推進しながら農業経営の安定化を推進します。</p>

主な取組	<p>(1) 農業経営の効率化と安心安全な農産物の生産による差別化と高付加価値化を目指し農業生産工程管理（GAP）手法の取組拡大を推進【指標：GAP認証新規取得件数】</p> <p>(2) 新たに産地化する農産物開発検討の推進【指標：対象農産物等の種類選定】</p>
-------------	---

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	2	達成数	2
今後の方針	<p>(1) 東京オリンピック・パラリンピック食材調達を念頭に、2019年産農産物等が審査対象となることを踏まえ、引き続き、新規取得意向農家の掘り起しを加速させるほか、認証継続が必要な農家への啓発と合わせ推進していきます。</p> <p>(2) 新たな産地化を目指して選定した推進品目の試験栽培、試験販売を通した中で、ブランド化を図ります。</p>				

2 美しい自然と豊かな観光資源を活かし交流人口の拡大と地域活性化の推進					
現状（課題）	<p>(1) 本区は、岩室温泉や角田山、北国街道、上堰瀧をはじめとする美しい自然と歴史を有しています。この豊かな観光資源を有効活用し、交流人口の拡大を図るとともに、宿泊者数の増加にもつなげていく必要があります。</p> <p>(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を起爆剤として地域の魅力を最大限に発信し、観光産業の発展と地域の活性化を図る必要があります。</p>				
課題解決策	目標	<p>(1) 観光資源と地域産業を有機的に結び地域の魅力を最大限に活用した交流人口の拡大と、宿泊者数の増大</p> <p>(2) インバウンドや個人旅行者を意識した受入態勢の充実</p>			
主な取組	<p>(1) プレデスティネーションキャンペーンの機会を捉え、岩室温泉を核としたガストロノミーツーリズムに取り組むとともに、全国20地域に広がる「わらアートまつり」や北国街道まち歩き、インターネットなどを通して海外でも話題の「にしかん映画」などを効果的に国内外に発信し、交流人口の拡大を図るとともに、移住モデル地区（越前浜）など、地域と連携し定住化を促進【指標：観光入込客数】</p> <p>(2) 本区の魅力あるコンテンツのブラッシュアップを図り、インバウンド等を視野に入れた情報発信の強化と受入態勢整備を推進する。また、新潟空港・新潟駅など拠点からの二次交通を検討【ホームページの多言語化、上堰瀧のWi-FiとSNSポイントの設置】</p>				

	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	2
取組結果	<p>(1) 開催手法の見直しから、わらアートのオープニングイベントを1日にしたことによりイベント来場者数は減少しましたが、新潟空港からの二次交通を新たに整備するとともに、既存のイベント内容の磨き上げや西蒲映画等による地域の魅力の発信強化を図ることで、全体的な観光入込数が増加しました。</p> <p>(2) インバウンド向けの情報発信の強化として、わらアートをフックとした海外向けの多言語ホームページを開設するとともに、SNSによる情報拡散を狙って、上堰潟にWi-Fi 設備や新たな観光スポットを設置しました。</p>				
今後の方針	<p>(1) 今年度整備した新潟空港からの二次交通と連携させる形で、区内に点在する観光資源を結ぶ三次交通（観光周遊バス）の試験運行について新たに実施するとともに、関西圏等での観光プロモーションやエージェントセールスを拡充し、知名度の向上による一層の誘客促進を図ります。</p> <p>(2) 東京オリンピック・パラリンピックの開催等に伴うインバウンド観光客の増大を見据え、引き続き区の魅力を国内外に発信するとともに、弥彦村や県央地区などの近隣地域の観光資源と連携した観光モデルコースの開発・造成を進め、広域圏における周遊性を高めることで、観光産業の発展と地域の活性化を目指します。</p>				

3 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進	
現状（課題）	<p>(1) 本区は面積が広く、居住区が各地区に散在していることから、災害時には地域住民の相互協力による自主的な避難・救助活動等を行なう自主防災組織体制が不可欠ですが、自主防災組織の結成率が市内8区に比較して低いことから引き続き結成率向上に向けた取組みや活動への支援が必要です。</p> <p>(2) 本区は、市内8区のなかで高齢化率が一番高く、医療・介護・生活支援が一体となったサービスの提供が求められています。</p> <p>(3) 本区は、生活習慣や生活習慣病に罹るリスクを多く抱える地域で、特に壮年期からの健康管理や健康づくりへの意識を高めるための支援が必要です。</p>
課題解決策	<p>目標</p> <p>(1) 大規模自治会を中心に年間の自主防災組織結成数5組織以上</p> <p>(2) 日常生活圏域ごとの地域住民を主体とした支えあいの仕組みづくり</p> <p>(3) 健康管理に対する意識の醸成・健康寿命の延伸、認知症を正しく理解する地域づくりの推進</p> <p>(1) 地区コミ協等と連携しながら、さらに自主防災組織の結成に向けた取組みを行うとともに、引き続き区独自の補助制度を活用し自主防災組織の活動を支援します。</p> <p>(2) 高齢者の居場所づくりや在宅生活を支援するために、地区コミ協・民間・NPO など多様な事業主体による住民主体訪問型生活支援サービス創出できる体制の構築を推進します。</p> <p>(3) 健康プロジェクトの運動、生活習慣病に関する教室、口内健康に関する教育などを通して区民の健康管理に対する意識を高めながら健康寿命の延伸を図るとともに、認知症に関し正しく理解する地域づくりを推進します。</p>
主な取組	<p>(1) 自主防災組織活動助成事業の推進【指標：自主防災組織加入自治総数】</p> <p>(2) 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援【指標：サービス事業数、認知症を理解するための茶話会開催数】</p> <p>(3) 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援【指標：運動プロジェクト運動の回数、生活習慣病予防の健康教室参加者、口内健康の教育の延べ参加者】</p>

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	4
取組結果	<p>(2) 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援【指標：サービス事業数、認知症を理解するための茶話会開催数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサービス 開設数 目標：2件 実績：2件（潟東地区の称名、島方） ・地域の茶の間 開設数 目標：2件 実績：3件（西川地区の学校町、貝柄、潟東地区の横戸） ・認知症を理解するための茶話会開催数 目標：8カ所 実績：10カ所（9コミ協と巻西中学校で開催） <p>(3) 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援【指標：運動プロジェクト運動の回数、生活習慣病予防の健康教室参加者、口内健康の教育の延べ参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動プロジェクト運動の回数 目標：55回 実績：86回（健康相談会等で「にしかんみんなの体操」の運動指導） ・生活習慣病予防の健康教室参加者 目標：1,100人 実績：2,537人 からだ測定運動教室 12回実施 711人参加 血管のまもり方教室 3コース実施 145人参加 にしかんみんなの体操普及 1,533人参加 健康増進普及講習会 148人参加 ・口内健康の教育の延べ参加者 目標：120人 実績：483人 口腔機能向上教室 95人参加 中学校歯科保健教育 79人参加 にしかん健康フェア 107人参加 にしかん親子コンサート 202人参加 				
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合いの仕組みづくり推進員と連携し「地域の茶の間」「住民主体の訪問型支援サービス」の創出を推進していきます。 ・健康教育、健康相談、イベントをはじめ、地区組織と連携し健康づくりの普及を図り、生活習慣の改善に向けた取り組みを根付かせて、健康寿命延伸に取り組んでいきます。 				